

第5回

Meet the Leaders

**Visionの描き方と選択について
～ 企業研究の経験から ～**

2015年6月10日(水) 17:30～

**最先端医療イノベーションセンター3階
【演習室1・2】**

講師：福島大吉 Ph.D

**(小野薬品工業株式会社/
筑波研究所所長 兼 先端医薬研究部長)**



●交流会

時間：19:00～

**場所：最先端医療イノベーションセンター 3階
交流サロン**

**企業研究者としての経験と将来のVisionをテーマにお話し頂きます。
この機会に自分の将来や夢などについて考えて、話してみませんか？**

お問い合わせ

今泉友希・井上直紀・桑原敦（大阪大学大学院 IPBS 2期生）

E-mail: imaizumi@geriat.med.osaka-u.ac.jp

講演要旨

世の中の全てが劇的に変化してゆく中で、自分が携わっている分野は今後どのようなになるのだろうか？そのために自分はどの行動すべきなのか？「目標」の設定と評価は、個人にとっても組織にとっても極めて重要な課題である。特に、多方面の協力が必要な企画を推進する場合には、Visionの魅力度はもとより、ヒトを動かすLeadershipの在り方も大きなポイントとなる。若い研究者の方が自身の研究課題に没頭するのは自然であるが、時には高所に立って課題を見直してみることも将来のためには必要かもしれない。筆者は企業研究者のひとりにすぎないが、実は6つの研究室で働いた経験があり、普通とは少し変わった目線で考察できていると思っている。以下は個人的な経験に基づく一方的な意見にすぎないが、少しでも共感する部分を見つけていただく機会になれば幸いと思っている。

筆者が企業研究者として心掛けてきたことは三つある。

- 1 自分の原点を大切にすること、テーマが変わっても「ぶれない芯」を持つこと
- 2 戦略的な発想を心掛けること、これはVisionの策定そのものである
- 3 やるならすぐやる、走りながら考えることが先導性：Leadershipにつながる